

会議速報

件 名	平成26年度第2回 鹿児島市男女共同参画審議会	作成課	市民文化部 男女共同参画推進課
日 時	平成26年10月9日(木) 14時00分～15時30分		
場 所	サンエールかごしま特別会議室		
出席者	委員14名(甲斐委員、斉野委員、田中委員、牧委員、宮元委員、矢野委員 欠席)		
市出席者	男女共同参画推進課職員		
会 次 第	1 開会 2 議事 (1) 男女共同参画都市かごしま宣言について ①経過説明 ②意見交換 ③意見まとめ 3 その他 4 閉会		
主な意見等	1. 男女共同参画都市かごしま宣言について (主な意見) (1)宣言のジェンダー・フリーという用語についての考え ・平成19年ごろから、大学のジェンダーを学ぶ場では、ジェンダー・フリーという用語は使用しないことを最初に説明された上で講義があったこと、男女共同参画とかウィメンズリブに関しては定期的にバックラッシュという動きが見える中で、誤解を与えかねないことなどから、別の言葉に改めるべきと思う。 ・内閣府男女共同参画局の事務連絡にあるが、この用語をめぐる誤解や混乱を解消するため、地方公共団体においては、今後はこの用語を使用しないほうが適切という内容である。私どももこの事務連絡を踏まえて、ご相談があればその趣旨を説明している。 ・いい言葉として最初制定時は使っていたと思うが、内閣府から通知が出ていて、自治体が使わない方へ移行しているのであれば、改善する方向というのもありではないか。 ・皆さんの意見を伺っていろいろ考えた。最初の意見と違うが、宣言を浸透させることができなかったことが一つの問題だと思うので、ジェンダー・フリーの本来の意味を今一度市民に説明するうえでも、宣言は宣言で残して、本来の意味を注記するかたちがいいと思う。 ・市長の思いとして、「性別にかかわらずなく、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる」という意味で使ったジェンダー・フリーという言葉は残していいと思う。 ・宣言を作成される段階で当時の状況に合わせて「性別にかかわらずなく、個性と能力を十分に発揮できる」という意味で使用しているので、安易に前に行った宣言の一部を変えるのはどうかと考える。 ・平成18年の内閣府の事務連絡「今後は使わない方が適切で考える」があるが、計画とか条例で、今後つくるものについて新たにジェンダー・フリーという言葉は使わないという意味だと思う。宣言は平成13年には既にあるわけで、それまでも改正するのが望ましいということまで言っているのかということころは、皆さんの考えと違う。今宣言としてあるものまで変えるというのは、重みが違うという気がしている。 ・「性別にかかわらずなく、個性と能力を十分に発揮できる」ということを書いて、このまま残すのはどうか。 ・勘違いする人がたくさん出たという事実もあるので、わかりやすい文言がよい。ジェンダー・フリーについては削除してもいいのではないか。 ・ほとんどの市民に、ジェンダー・フリーは理解されていないのではないか。削除して分かりやすい言葉に変えた方が市民に浸透していくのではないか。		

主な意見等

- ・一つの単語が、複数の意味にとられるということであれば、見直すのも一つの選択肢と思う。その一方、言葉を変えることで宣言自体の大きな理念といったところを失うことにならないかということが気になる。
- ・一つの宣言文というのは、その時代の生きた証拠になる。そういうものを10年とか20年のスパンで、今の時代に合わないから変えるというのは違うと思う。この宣言の説明文として、ここで使われているジェンダー・フリーは、「性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮できる」という意味で、当時使いましたという説明と、今鹿児島市が思っている理念というものを改めて表示することで補えるのではないか。
- ・ジェンダー・フリーという言葉が誤解を与えたり、意味が分からないというような言葉であれば、変えた方がいい、あるいはもっと分かりやすい表現を使った方が市民に趣旨を伝えられると思う。
- ・宣言をつくった時は言葉の意味は1つだった。今の時代になってみると、言葉の意味が広がったというか、正しく理解される方もあるし、違った意味で理解される方々もあるので、変えた方がいいのではないか。

(2) 適当な言葉、対策案について

- ・「性別にかかわらず」という文言は入っていいと思うが、前後のバランスを考えたときに、適当な言葉が思いあたらない。
- ・審議会の意見を踏まえて、市の方で持ち帰り対応を決められると理解している。具体的な用語については、審議会の中では決めにくい、難しいと思う。
- ・今、委員が言われたように、今回の会の趣旨はちょっと次元が違うように思う。私自身も、この言葉が的確だと断言できる言葉を持っていない。
- ・宣言は宣言で残して、本来の意味を注記するかたちがいいと思う。
- ・注釈で、当時の意味を加えられるのであれば加えていただいて、原文はそのまま残すことで、当時の宣言を尊重できるのではないかと思う。
- ・私も、文言は変えずに注記を加えるべきだと思う。
- ・ジェンダー・フリーという言葉はそのまま、結論としては注釈を入れていただきたい。
- ・特にはありません。使える言葉としては、男女共同参画の視点か？
- ・使える言葉としては、資料1の(1)にある「性別にかかわらず、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる」しかないのかなと考えている。
- ・適当な言葉は、なかなか思い当たらない。
- ・最終的な思いとしては、かごしま宣言はこのまま残して、宣言の時にはジェンダー・フリーという言葉はこういう意味で使いましたという注釈を付けるのが一番いいと思う。
- ・審議会の意見を吸い上げていただき、最終的な判断をするのは当時思いを持ってつくっていただいた市長や市なのかなと思う。提案としては、例えば、男女に不均衡な慣行を見直し、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮できる社会を目指しますとか、分かりやすく表現するといったと思う。

(審議結果)

- ・男女共同参画都市かごしま宣言のジェンダー・フリーという用語については、さまざまな委員の意見を参考にして市で検討する。